

第23号

商工女性 あきた

発行所／秋田県商工会議所女性会連合会 TEL 018-866-6678

編集発行人／竹島仁子



ご挨拶

秋田県商工会議所女性会連合会

会長 竹島 仁子

昨年六月、秋田県商工会議所女性会連合会会長の大役を仰せつかりました竹島仁子でございます。十八年の長きに亘り会長を務めてこられた西村悠子前会長の足元には及びませんが、会員の皆様のご協力のもと、私なりにできることを精一杯行なって参りますので、どうぞよろしくお願ひ申しあげます。

今年度の活動を振り返りますと、会長としての初仕事は七月の岩手県北上東北大会への参加でした。岩手県は全国大会誘致の実績もあり、会員の皆様が一丸となってお迎えくださいました。そして十月、新潟全国大会への参加、全国の女性経営者が一堂に会し、そのエネルギーに多大な刺激を受けました。まだ参加経験のない方は、ぜひ一度足を運んで女性のパワーを実感していただきたいと思ひました。また、同月、大曲女性会の担当で経営講習会を開催いたしました。秋田が誇る大曲花火の歴史や製造工程を学び、とても意義深く楽しい時間を過ごしました。更に、七月の記録的大雨被害に対する義援金の募集を大館女性会が中心となり県内に呼びかけ、県女連として日本赤十字社秋田県支部へ寄付をいたしました。

年が明け、一月には当女性連のメイン事業である「女性起業家大賞表彰式」を開催し、今年度も未来に輝く女性起業家四名を表彰することができました。今後も地域で頑張る女性起業家たちに心を寄せ、全力で応援して参ります。

こうした活動を通じ、これからも会員の皆様のご意見を頂戴しながら、地域社会の発展に向け、女性ならではの力を最大限に発揮し活動して参りますので、ご協力賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

❖新会員募集中❖

当女性会では、新会員を随時募集しております。

女性ならではの研修会や事業に参加し、新たなネットワークを広げてみませんか？

目的 管内の商工業に従事する女性が、知識と教養を高め感性を磨き、地域商工業の進行発展と社会福祉に寄与する。

加入資格 県内各地域商工会議所の会員であり、商工業に関与する女性。

—お問い合わせは、お近くの商工会議所女性会事務局へお願いします—

秋田県商工会議所女性会連合会

- 秋田商工会議所女性会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 TEL.018-866-6678
- 大館商工会議所女性会 〒017-0044 大館市御成町2-8-14 TEL.0186-43-3111
- 能代商工会議所女性会 〒016-0831 能代市元町11-7 TEL.0185-52-6341
- 大曲商工会議所女性会 〒014-0027 大仙市大曲通町1-13 TEL.0187-62-1262
- 横手商工会議所女性会 〒013-0021 横手市大町7-18 TEL.0182-32-1170
- 湯沢商工会議所女性会 〒012-0826 湯沢市柳町1-1-13 TEL.0183-73-6111



2023年度秋田県商工会議所女性会連合会〔女性起業家大賞〕受賞者

秋田県商工会議所連合会 会長賞



株式会社 代表取締役

阿部 円香

横手市／宿泊業・酒類製造業
創業2017年4月

この度はこのような栄誉ある賞を頂き、皆様に深く感謝申し上げます。個人事業主としてゲストハウスを始めた頃は、法人化し社員を抱え、ハードサイダーというお酒を作っている、というのは全く想像できませんでした。最初は「地元のために」というよりも、自分が楽しい環境を作ることを第一に考えていましたが、秋田に帰り出会った先輩方の影響やお客様との交流から、地元に戻元できることをしていくことも、働く上で目指す形となりました。

一度は嫌で飛び出したはずの地で、ポジティブにここで楽しく暮らしていけるビジョンが見えたことは、起業をして最も良かったことの一つです。これからも非日常を楽しめる日常を提供できる場・機会を、県内外の方に味わってもらえるよう仲間と努めていきます。

秋田県商工会議所女性会連合会 会長賞



合同会社 代表社員

藤田 貴子

能代市／社会福祉事業
創業2016年2月

このたびは、能代商工会議所の方々をはじめ、弊社を支えてくださる多くの方のお力添えで、栄誉ある賞を受賞することができ、深く感謝を申し上げます。

自閉症の次男が小児がんで亡くなったことをきっかけに、障がいを持つ人たちが生きがいを持って地域で過ごすサポートをしようと考え、平成28年4月に起業しました。

放課後等デイサービス事業や就労継続支援B型事業、共同生活援助事業を展開しており、障がいを持つ人が地域の一員として自立できるように、一人一人の個性・特性に応じたきめ細やかなサポート、地域との連携を大切にしています。

これからも初心を忘れず、ふるさと・能代に恩返ししていきます。今後とも私たちをよろしく願っています。

女性起業家大賞 奨励賞

合同会社たんぼぼプロジェクト
代表社員

作左部 紀子

秋田市／産後ケアサービス業
創業2020年7月

この度は、女性起業家大賞「奨励賞」をいただき、誠にありがとうございます。

「お母さん」は世界一大変で幸福な仕事です。秋田の母親の子育てを支援するために、看護師・心理士の経験を活かし、助産師・保育士他のスタッフと共に産前産後ケア・産後デイサービス施設「子ども子育て応援ハウス Growing up」を開業しました。これまで産後デイサービス施設がなかった秋田県の産後ケア事業は全国最下位でした。開業3周年の当社は、県内9市町村から委託契約を受け、登録者数630名、延べ利用者数は1,000名を超え、秋田県の産後ケア事業を支えています。

今後も「すべての母親に子育ての幸福感や母親になった喜びを」の経営理念のもと、産前・産後のこころとからだを癒し、育児不安を解消するサービスを提供して、秋田県が「子育てしやすい県」となって、出生数が増加することを目指して尽力してまいります。

女性起業家大賞 奨励賞

株式会社グランド맘
代表取締役

菊地 知穂

秋田市／有料職業紹介事業
創業2021年11月

この度は、女性起業家大賞「奨励賞」をいただくことができ、心より感謝申し上げます。

医療や福祉のお仕事に従事される方は女性の方が多く、女性は結婚や出産、子供の進学などライフイベントに合わせて転職をせざるを得ないケースが多々あります。私自身小さな子供を抱えながら就職活動することに苦勞し、孤独を感じた経験がありました。一人一人の悩みに寄り添いながら就職活動のお手伝いをし、笑顔で働ける職場を提供したいと思い株式会社グランド맘HAREWORKを作りました。

これからもたくさんの方が笑顔になれるよう微力ではございますが努力してまいります。

秋田 だより

6月

経営講習会(秋田)

桂三枝師匠(現桂文枝師匠)より芸名「八軒家けん市」を授かっている講師の松本賢一氏のキラキラ笑いありのとても楽しい「社内・社外で役立つ“伝える・伝わる”」講座でした。細かく伝えるのではなく20%程余白のある説明でリズムとテンポよく伝えることが、より相手の想像力を掻き立て、豊かな心を育むメソッドになることがよく理解できました。(佐藤)



2023.6.20

8月

10月

職場体験事業

コロナ禍で3年間実施できなかったが、今年17回目となる職場体験を行いました。当女性会員事業所の協力を得て実施。中学生と高校生14名が参加し、5事業所での夏・秋休み期間の1~3日間の実習を通じて、労働の厳しさや社会人としての常識を学びました。生徒からはお礼状が届き、先生からは参加者の表情が明るくなったと好評でした。(三浦)



2023.8.1~8.24, 10.7~10.9

10月

第20回仲小路まちなかハロウィン

今年は強風と雨の中で例年約500名の参加が半数程度になり残念でしたが、クイズコーナーでスタンプを集めてお菓子と交換したり、個店からお菓子をもたらったりと賑やかな声がかきこえホッとしました。秋田市地域おこし協力隊や秋田駅、トピコなどからのお菓子配布など他団体ともコラボでき、今後はより多くの「ハロウィンフォトスポット」を巡り楽しんでもらいたいです。(境田)



2023.10.21

11月

企業視察研修会~盛岡市~

盛岡商工会議所女性会との意見交換会を開催し、会長以下5名で参加。活動内容等説明後、それぞれの興味深い活動への質疑、多くの会員が他会と交流するための方策、更には、将来を見据えた女性会の存在意義にもふれる意見交換となりました。また、(株)幸呼来(さっくら)Japanを視察し、裂き織の伝承とリサイクルと障がい者雇用のサステナブルな社会の実現を目指す姿勢に感銘を受けました。(高橋)



2023.11.27

1月

県女連「女性起業家大賞」表彰式

県内会員およびご来賓49名が参加し開催。秋田女性会推薦の「(同)たんぼぼプロジェクト」左作部紀子さんと「(株)グランドママ」菊地知穂さんは奨励賞を受賞されました。また、全国推薦した「NPO法人あきた結いネット」坂下美渉さんは全国女性会連合会「特別賞」に輝き、全国受賞は4年連続となりました。

受賞者の皆様の起業への志の高さと行動力に敬意を表しますとともに、それぞれのフィールドでの更なる活躍を期待しております。(石井)



2024.1.22

全国商工会議所女性会連合会「第22回女性起業家大賞グロース部門特別賞」受賞



特定非営利活動法人あきた結いネット

理事長 坂下美渉

「秋田県から困っている人をなくす」ことを目的に県内初の生活困窮者支援団体を2013年に創設。ホームレス等の包括的支援や障がい者施設で作る商品のセレクトショップ「story cat」運営など、地域に求められる社会福祉サービス事業を展開。「誰もが働きたい時に働ける」開かれた就労支援事業を構築しながら社会問題解決型ビジネスモデルを目指しています。昨年7月の大雨災害では被災者支援拠点を開設し、食糧品等の提供や転居相談などを担い、生活再建できない被災者支援を積極的に行っています。